

こんなことも地球にも 懐(ふところ)にもやさしい

シリーズ

家庭でできる温暖化防止⑩

ちょっとした気配りが
CO₂削減につながります。

取り組み1

**マイバック(買い物袋)を持ち歩き、
省包装の商品を選びましょう**

過剰な包装用紙などは、家に帰るとすぐごみになります。簡易包装や詰め替え式商品を選び、ごみの排出量を減らしましょう。また、マイバックを持ち歩き、できる限りレジ袋も減らしましょう。レジ袋を持参することで割引券などがもらえるお店もあるようです。ごみを減らすことによりごみ袋の購入費用も少しで済みます。



●このコーナーは、環境課が担当します。内線304

取り組み2

資源回収に出しましょう



不要になった新聞や雑誌などはリサイクルへ。毎月第1日曜日と毎週水曜日の午前中には旧日本ラインシユロスで資源回収を行っています。また、学校で行う資源回収も広報などで随時お知らせしています。ごみで出せば処分する費用が必要になりますが、資源回収に出すことで限りある資源の再利用に役立ちます。

考えよう。共生時代⑤

シリーズ

ブラジルの学校制度

Bom Dia

昼間にブラジル人の子どもが外で遊んでいるのを見掛けて、「学校へ行っていないのかしら?」と思われる人は多いのではないだろうか。そこで今回は、ブラジルと日本の学校の制度の違いについてお話します。

学校は半日制で、午前と午後の部に分かれています。給食はなく、昼食は自宅で取ります。また、休み時間があり、持参してきたサンドイッチなどを食べます。義務教育は8年と日本より1年少なく、学校は2月に始まり、12月に終わります。

さらに、日本と大きく異なるのが、小学校・中学校と分かれておらず、一つの学校で1年生から8年生まで過ごすことです。

そして日本にあるブラジル人学校も、本国の学校とはほぼ同じシステムを採っています。

このように、学校の制度にはいろんな違いがありますが、国籍・文化に関係なく、子どもたちは元気で素直です。

昼間に外国人の子どもを見掛けても、首をかしげることなく、「Boa tarde (ポア・タルデ) こんにちは」と気軽に声を掛けてみてください。